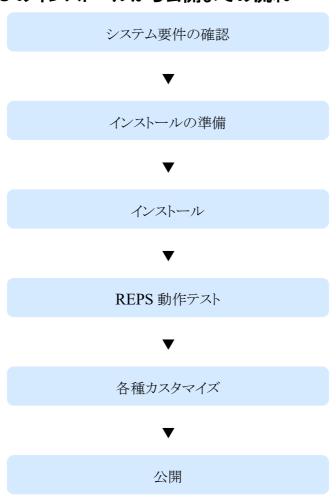
# REPS 設置マニュアル

# このマニュアルについて

このマニュアルは、REPS 設置マニュアルです。REPS の導入方法を手順を追って詳細に記述しています。

おもにシステム運用者様を対象としています。

# REPS のインストールから公開までの流れ



# システム要件

#### 必要な環境

#### Perl による CGI スクリプトを実行できるサーバ

REPS は、Perl/CGI が使える一般的なレンタルサーバーで動くように作られています。 \*ウェブ・サーバ(Apache HTTP Server)は、Unix 系オペレーティング・システム向けのものを推奨します。 \*Perl バージョン 5.005\_03 以上 (5.6.1 以上推奨)で動作します。 (5.6.0 では Perl に不具合が多い為、REPS は正常には動作しません)\*1

アプリケーションのサイズは約4MBです。そのほか、物件データを保持するのに20MB以上のハードディスク空き容量を推奨します。

#### FTP クライアント

ウェブ・サーバに REPS をインストールし、運用を管理するために必要です。 (例:FFFTP など)

#### 文字コードや改行コードを指定できるテキストエディタ

設定ファイルを書き換えるために必要です。文字コードや改行コードを指定して保存するのに便利です。 (例:秀丸、K2Editorなど)

#### ウェブ・ブラウザ

以下のブラウザでの動作を確認しています。

Firefox (Linux 版、Windows、Mac 版)、Opera、Safari、Internet Explorer6 と7 (Windows 版)、Konqueror

# インストールの準備

#### Perl へのパスの確認

サーバ上でPerlスクリプトを実行するために、Perlへのパスを正しく指定する必要があります。また、Perlスクリプトに実行権限(パーミッション)を付与する必要があります。Perlへのパスや実行権限(パーミッション)の付与のしかたについては、ホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

REPSでは、「#!/usr/bin/perl」が初期値です。ほとんどの場合は変更の必要はありませんが、レンタルサーバーによっては、複数のバージョンのPerlがインストールされている場合や、初期値と異なる場合がありますので、必要に応じて、インストール手順1で説明する方法で設定してください。

#### sendmail へのパスの確認

REPS システムからメール送信の機能を利用するために、sendmail が使用できることを確認する必要があります。また、sendmail へのパスを正しく指定する必要があります。sendmail へのパスについては、ホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

REPSでは、「/usr/sbin/sendmail」が初期値です。ほとんどの場合は変更の必要はありませんが、初期値と異なる場合は、インストール手順3で説明する方法で設定してください。

<sup>\*1</sup> Perl 5.6.0 には致命的な障害がありますので、Perl5.6.1 以降を推奨します。

# インストール

# 1. Zip 圧縮ファイルを解凍します。

ファイル構成は以下のとおりです。

index.html トップページ(サンプル)

LICENSE.txt ライセンス文書

print.css 印刷ページ用の CSS

site-styles.css デザインの CSS

app/

backup/ バックアップ・復元用ディレクトリ

db/ データベース保存用ディレクトリ

export/ エクスポート用ディレクトリ extlib/ 外部モジュールディレクトリ

import/ インポート用ディレクトリ

lib/ REPS 用モジュールディレクトリ

system/

static/ 管理画面用 CSS ファイル配置ディレクトリ

icons/ 管理画面用 アイコン ファイル配置ディレクトリ

templates/ 管理画面用テンプレートファイル配置ディレクトリ

templates/ 一般用検索ページ用テンプレートファイル配置ディレクトリ

mobile.cgi 携带用検索

reps.cgi 管理画面へのログイン

reps-config.cgi.default デフォルトの設定ファイル

reps-mod-check.cgi モジュールチェック用

search.cgi 一般向け検索

site.cgi その他「汎用お問い合わせフォーム」等(オプション)

#### Perl へのパスが初期値と異なる場合の設定方法について

ほとんどの場合は変更の必要はありませんが、**Perlへのパスが#!/usr/bin/perlではない場合**、reps.cgi、search.cgi、reps-mod-check.cgi、mobile.cgi、(site.cgi)の1行目の内容を「#!/usr/local/bin/perl」などのように書き換える必要があります。

また、異なるバージョンの Perl が複数インストールされている場合、Perl のバージョンをパスで指定出来る場合があります。その場合、新しいバージョンの Perl を指定してください。例:「#/usr/bin/perl5.8」

#### ご注意:

CGI ファイルを編集する際は、文字コードや改行コードを指定して保存できるテキストエディタを ご利用ください。

CGI ファイル (reps.cgi、search.cgi、reps-mod-check.cgi、site.cgi) の文字コードは「EUC」、改行コードは「LF」です。変更すると CGI スクリプトが動作しない可能性があります。文字コードや改行コードを変更しないようにして設定してください。

#### 2. インストール先を決定します。

ここでは、ウェブサイトのトップページが http://www.example.com/であり、REPS 本体を、app という ディレクトリ(http://www.example.com/app/) にインストール する場合を想定して解説します。 (インストール 先を、http://www.example.com/cgi-bin/app/ 等にされた場合はサンプルの index.html ファイルのリンクをそれにあわせて適時修正してください。)

#### 3. 設定ファイルを設定します。

#### 秀丸で開いた例:

- 1. reps-config.cgi.default をコピーして、reps-config.cgi ヘファイル名を変更します。
- 2. 文字コードを指定して保存できるテキストエディタで開きます。(図参照) 一般的なテキストエディタにはメニューとして「ファイル」 「開く」が用意されています。これを使用して、reps-config.cgi を指定します。
- 3. 設定ファイルの内容を、ご使用のサーバにあわせて書き換えます。 以下の項目は必ず変更してください。

項目名	初期値	説 明
site_url	http://www.example.com/	サイトの URL (http://ではじまるアドレス)です。 テンプレート内でトップページへの移動や CSS ファイルへの リンクなどに使います。 最後に必ず/を付けてください。
cgi_url	http://www.example.com/app/	CGI 実行ファイル (reps.cgi、search.cgi) が存在する、http://ではじまる URL です。 最後に必ず/を付けてください。
static_url	http://www.example.com/app/system/static/	レンタルサーバーの設定によって、cgi 実行ディレクトリでは css などのファイルを実行しようとしてしまうため、別ディレクト リに css 等を含んだ static ディレクトリを指定できます。 最後に必ず/を付けてください。
db_path	./db/	データベースを保存するディレクトリパス。 <b>最後に必ず/を付けてください。非公開ディレクトリが望ましいです。</b>
sendmail_path	/usr/sbin/sendmail	メール送信プログラム sendmail までのパス。 サーバ毎に確認してください。

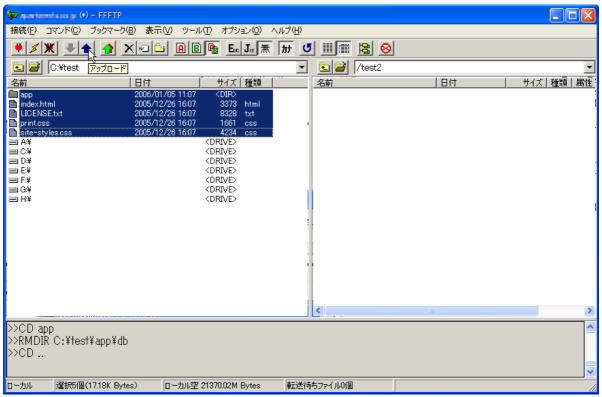
その他の項目に関しては、巻末の「設定ファイル項目一覧」を参照してください。

#### ご注意:

設定ファイルの文字コードは「UTF-8」です。変更するとCGIスクリプトが動作しない可能性がありますので、必ずこの文字コードで保存してください。

## 4. アップロードします。

FTPクライアントソフトウェアでファイルを全てアップロードします。



FFFTP の例:

下記のファイルを除き、全てのファイルを**テキストモード(アスキーモード)**でアップロードしてください。

バイナリモードでアップロードする必要のあるファイル app/extlib/Unicode/Japanese.pm と app/system/static/icons/ 内の全てのファイル

#### ご注意:

既にトップページ(index.html)が存在している場合は、上書きしないようにお気をつけください。

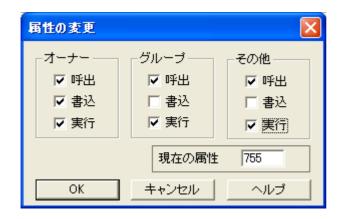
#### 5. 実行権限(パーミッション)を設定します。

reps.cgi、search.cgi、reps-config.cgi、reps-mod-check.cgi、mobile.cgi の実行権限(パーミッション) を設定します。(汎用お問い合わせフォームを利用する場合は site.cgi も) FFFTP では以下のように設定します。

- 1. ホスト側の reps.cgi、search.cgi、reps-config.cgi、reps-mod-check.cgi、mobile.cgi を(汎用お問い合わせフォームを利用する場合は site.cgi も)選択して、右クリックし、コンテキストメニューを表示させます.
- 2. コンテキストメニューから「属性変更」を選択します。



3. 属性を変更します。 実行権限を755に指定するには、以下のようにします。



#### 確認:

実行権限の設定方法はレンタルサーバ毎に異なる場合があります。 詳細はホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

#### 6. CGI 動作環境チェックを実行します。

CGI 動作とモジュール環境チェック (reps-mod-check.cgi) を実行し、CGI の動作環境のチェックを行います。Web ブラウザで http://www.example.com/app/reps-mod-check.cgi ヘアクセスします。 実行の結果、「必要なモジュールがインストールされていることが確認されました。」というメッセージが表示されれば、CGI の動作と REPS に必要なモジュールが存在することが確認できたことになります。

#### 確認:

レンタルサーバによっては、CGI の動作をcgi-bin などの特定のディレクトリに限っていることがあります。 また、cgi-bin ディレクトリ内では、画像や CSS ファイルを置けない場合もあります。 詳細はホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

#### 7. データベースを初期化します。

Web ブラウザで http://www.example.com/app/reps.cgi ヘアクセスします。 初期化画面が表示されます。



ここでは、管理者ユーザーを作成します。ユーザー ID とパスワードを入力してください。パスワード は確認のため、2回入力します。登録ボタンをクリックすると、登録されます。

#### 確認:

初期化画面が上記サンプル画像のようにならず、スタイル付けされずに(表題の文字色・枠の色がサンプルと異なる、など)表示されてしまう場合は、まずすべてのファイル類が正しくアップロードされているかをご確認ください。

これらのファイルが正しくアップロードされているにもかかわらず、スタイル付けされずに表示されてしまう場合には、スタイル付けに必要な CSS ファイルや HTML テンプレートを認識していないことが考えられます。 設定ファイルの「static\_url」の項目を 変更し、app/system/static ディレクトリをそこに移動し、設定する必要があります。

たとえば、

static\_url=http://www.example.com/www/static/のように設定します。

REPS::物件管理画面
セットアップ完了しました。設定したユーザー名とパスワードでログインし、会社情報とユーザー情報を設定してください。
REPS: "The Real Estate Portal System" Version 1.1 - Witha System Ltd (2006)

「会社情報」または「ユーザー情報」のリンクをクリックすると、ログイン画面が表示されます。 管理者ユーザーのユーザー ID とパスワードでログインしてください。

ログイン後、会社情報及びユーザ情報を入力して登録します。

REPS::物件管理	色面面	ユーザー: admin <b>[管理者]</b> ログアウト
賃貸::住居用	メインメニュー > [管理メニュー] 会社情報編集	
<ul><li>新規物件追加</li><li>登録物件一覧</li></ul>	会社情報	
• <u>物件検索</u>	会社名:	
賃貸::事業用	所在地:	
• <u>新規物件追加</u>	免許番号:	
<ul> <li>登録物件一覧</li> <li>物件検索</li> </ul>	管理者名:	
	電話番号:	
	メールアドレス:	
売買::土地 ・ 新規物件追加	■すべての問い合わせメールのコピーをBCCで管理者宛に送る。	
<ul> <li>登録物件一覧</li> </ul>		
• 物件検索	問い合わせメールの送信先メールアドレスを指定	
<b>##</b> ->.>.	指定をしないと会社情報で登録したメールアドレスに送信されます。	
売買::マンション ・ 新規物件追加	賃貸物件の問い合わせ:	
<ul> <li>登録物件一覧</li> </ul>	売買物件の問い合わせ:	
• <u>物件検索</u>	75× 1911 (0715), 1847 (2.1	
売買::一戸建て	更新	
<ul> <li>新規物件追加</li> </ul>		
● 登録物件一覧		

REPS::物件管理	2. 画面	ユーザー: admin [ <b>管理者</b> ] ログアウト	
賃貸::住居用 • 新規物件追加	メインメニュー 〉 ユーザー 情報編集		
<ul> <li>登録物件一覧</li> </ul>	ID: admin		
• <u>物件検索</u>	パスワード		
賃貸::事業用	新パスワード(変更時のみ):		
<ul><li>新規物件追加</li><li>登錄物件一覧</li><li>物件検索</li></ul>	新パスワード(確認のため):		
	担当者名:		
	メールアドレス:		
	お好みの初期値		
売買::土地  • 新規物件追加	敷金の単位の初期値は、 ヶ月 🔻 にしておく。		
<ul><li>登録物件一覧</li><li>物件検索</li></ul>	礼金の単位の初期値は、 ヶ月 🔻 にしておく。		
売買::マンション	更新		
<ul> <li>新規物件追加</li> <li>● 容器物件一點</li> </ul>			

# REPS 動作テスト

#### 管理画面からサンプル物件登録

管理画面から賃貸::住居用の「新規物件追加」をクリックします。



新規物件追加画面が表示されます。登録の必須項目は背景色が■で表示されています。 各項目を入力します。たとえば、賃料を「¥50,000」と入力してみましょう。

	,
物件名:	サンプル物件A
部屋番号:	
物件所在地:	東京都
最寄駅 1:	聖蹟桜ヶ丘駅
駅徒歩 1:	20 分
バス停名 1:	
バス分 1:	分
停歩 1:	分
最寄駅 2:	
駅徒歩 2:	分
バス停名 2:	
バス分 2:	分
停歩 2:	分
賃料:	50000 円
共益費/管理費:	П

この際、画像などの登録(アップロード)が出来るかも確認してください。パーミッションの設定や、サムネイル生成モジュールの確認が必要となる場合がございます。

「追加されました。」のメッセージを確認します。

#### 一般画面へのアクセスと検索

Web ブラウザで http://www.example.com/index.html ヘアクセスし、「賃貸物件検索」をクリックします。検索条件を指定して検索します。



サンプル物件の登録で、賃料を「¥50,000」と入力した場合は、賃料の上限値を「5.0 万円」などに設定して「指定した条件で検索する」ボタンをクリックすると、サンプル物件がヒットします。



# 一般画面の検索結果・お問い合わせで、管理画面側で設定したメールアドレスにメールが配信されることを確認します。

検索結果画面でサンプル物件がヒットしたら、「詳細」リンクをクリックします。登録した内容が整形されて表示されていることを確認します。



そののち、「この物件についてお問い合わせ」ボタンをクリックします。



お名前、電話番号など必要な情報を入力して「お問い合わせ送信」ボタンをクリックします。



お問い合わせメールは、「会社情報」画面で登録したメールアドレス向けに配信されます。メールが届いたことを確認してください。

## 管理画面からサンプル物件削除

メールが正しく配信されたことを確認したら、サンプル物件を削除します。 管理画面から賃貸::住居用の「登録物件一覧」をクリックし、「削除」チェックボックスをチェックして、 「削除」ボタンをクリックします。



サンプル物件が正しく削除されたことを確認します。

これで REPS 動作テストは終了です。

# テンプレートと CSS のカスタマイズ

一般向けのページはカスタマイズすることができます。 詳細は別冊の「管理・カスタマイズ マニュアル」を参照してください。

## ■お知らせ

ご利用の前にライセンスファイルをご一読ください。 今後とも改善を図りたいと考えておりますので、ご意見、ご指摘等いただければ幸いです。

# ■動作確認済みレンタルサーバー

ロリポップ (月額263円から) http://lolipop.jp/

## \*\*\*\*

さくらインターネット(月額125円から) http://www.sakura.ad.jp/

#### \*\*\*\*

ウェブアリーナ Suite2(月額3,360円から) http://web.arena.ne.jp/

#### \*\*\*

ファーストサーバー(月額2,940 円から) http://www.fsv.jp/

#### \*

(ギガント以前のプランは、Perl が古いです。 ImageMagick がありません)

他

# ■Mod\_Perl 環境について

サポート外ではありますが、REPS は mod\_perl(registry)環境で動作させてパフォーマンスの向上を図る事が可能です。

mod\_perl 環境で動作させるには、以下の通り、幾つか特別な作業が必要となります。 注:mod perl の設定は済んでいる前提です。

- (1)設定ファイルにて、パスの記述をフルパスで記述する。
- (2)モジュールを適切な場所に配置する。 個々の設定にもよりますので、下記は一例です。

/srv/www/perl-lib/

内に、「extlib」フォルダと「lib」フォルダの中身を移動させる。

その他のファイルは、通常通り、

/srv/www/cgi-bin/reps/app/

内に、

例:

db

export

import

system

templates

各フォルダ

\*.cgi

をコピー。

/srv/www/htdocs/

内に、HTML

管理画面用のアイコンや CSS ファイル

/srv/www/htdocs/app/system/static/

内に、

icons

\*.css

をコピー

\*httpd.confなどで、下記のように mod perlの設定が完了している必要があります。

PerlRequire "/etc/apache2/mod perl-startup.pl"

```
ScriptAlias /perl/ "/srv/www/cgi-bin/"
```

<Location /perl/>

# mod perl mode

SetHandler perl-script

PerlResponseHandler ModPerl::Registry

PerlOptions +ParseHeaders

Options +ExecCGI

</Location>

# ■設置トラブル 時のチェックリスト

#### **Internal Server Error 500**

○ Perl へのパス

Perl へのパスは間違ありませんか?

レンタルサーバーに掲載されている情報を確認されましたか?何か特別な指定が必要な場合も御座います。

#!/usr/local/bin/perl5.8 なのに、 #/usr/local/bin/perl5.8

としてしまっていませんか?

#### ○パーミッション

実行権限を正しく設定しましたか? レンタルサーバー毎に異なる場合がありますのでご確認ください。

○ FTP 転送もれ

FTP で一つでもファイルが転送されずにいると、動作しない場合があります。 FTP ソフトのログで転送失敗がないかどうかご確認ください。

○ Perl のバージョンの確認

REPS(を含めた多くのプログラム)は、Perl5.6.0 では動きません。Perl5.6.1 以上にアップグレードしてください。レンタルサーバーをご利用であれば、別のプランや会社のサービスに乗り換える必要が御座います。

# ■設定ファイル項目一覧

項目名	初期値	説明
lang	ja	言語です。変更する必要はありません。
charset	UTF-8	HTMLページの文字コードです。どうしても変更する必要がない限り、変更しないでください。
site_url	http://www.example.com/	サイトの URL (http://ではじまるアドレス)です。 テンプレート内でトップページへの移動や CSS ファイルへのリンクなどに使います。 <b>最後に必ず/を付けてください。</b>
cgi_url	http://www.example.com/app/	CGI 実行ファイル (reps.cgi、search.cgi) を呼び出す、http://ではじまる URL。 最後に必ず/を付けてください。
static_url	http://www.example.com/app/system/static/	レンタルサーバーの設定によって、cgi 実行ディレクトリでは css などのファイルを実行しようとしてしまうため、別ディレクトリに css 等を含んだ static ディレクトリを指定できます。 最後に必ず/を付けてください。
site_path	/	サーバーのディレクトリパス。/ではじまる。 例:/home/hoge/public_html/reps/app/ CGI 本体からの相対パスでも OK です。 最後に必ず/を付けてください。
db_path	./db/	データベースを保存するディレクトリパス。 <b>最後に必ず/を付けてください。</b>
tmpl_path	./templates/	テンプレート用のディレクトリパス。 <b>最後に必ず/を付けてください。</b>
sendmail_path	/usr/sbin/sendmail	メール送信プログラム sendmail までのパス。 サーバ毎に確認してください。
resource_directory	images/	物件の写真などを保存するディレクトリ名。パスではなく、ディレクトリ名です。 ディレクトリは、site_pathで指定したディレクトリ内に作られます。 最後に必ず/を付けてください。
max_file_upload_size_in_kb	900	アップロードファイルの最大ファイルサイズ。 単位:KB
items_per_page	10	検索結果等の1ページ表示物件数
items_per_page_mobile	5	携帯用ページでの検索結果等の1ページ表示物 件数
db_serializer	Storable	データをシリアライズする形式を指定します。 Storable または Data::Dumper を指定してください。 一度指定した系式でデータベースを作成したら変 更できません。Storable の方が高速です。
NetPBMPath		サムネイル生成の画像処理ツール ImageMagick が利用出来ない環境で、代わりに NetPBM が使 える場合、NetPBM へのパスを指定してください。 例:「/usr/local/netpbm/bin」「/usr/bin」

項目名	初期値	説 明
		「/usr/local/bin」 NetPBM 利用時の制限として、元画像はリサイズ されず、変換後すべて JPEG 形式で保存されます。
send_confirmation	Off	お問い合わせメールを受け付けた際、自動で、問い合わせ元のメールアドレスに確認メールを送ります。
independent_users	Off	Onにすると、ユーザーごとに物件情報を分離します。別ユーザーが登録した物件は変更できなくなります。また、会社情報も別途表示し、問い合わせメールも、物件登録ユーザーのメールアドレスに送られます。 通常一社で使いますので、Offで結構です。
syndicate	On	Onにすると、更新された物件情報のAtomファイルを生成します。物件情報が変更される度に更新されますので、物件数が多く、動作が遅くなる場合はOffにした方がよい場合があります。
detailed_stat	On	On にすると、管理画面の統計情報のアクセス履歴と問い合わせ履歴で、物件へのリンクと個々の物件毎の回数が表示されます。物件数が多く、動作が遅くなるような場合は Off にすると良いでしょう。
recommend_static_filename		例:test.html #HTMLファイル名を指定すると、お薦め物件を表示する静的HTMLページを生成します。 #物件数が多く、動作が遅くなる場合は指定しない方がよい場合があります。
recommend_static_rl	Off	#Onにすると、賃貸住居用物件のお薦め物件 データを生成します。
recommend_static_rb=	Off	#Onにすると、賃貸事業用物件のお薦め物件 データを生成します。
recommend_static_bl	Off	#On にすると、売買土地用物件のお薦め物件 データを生成します。
recommend_static_bm	Off	#On にすると、売買マンション物件のお薦め物件 データを生成します。
recommend_static_bh	Off	#Onにすると、売買一戸建て物件のお薦め物件 データを生成します。
recommend_static_bb	Off	#On にすると、売買投資用物件のお薦め物件 データを生成します。
recommend_static_display_li mit		#お薦め物件を表示するHTMLページで、表示する物件数の制限します。数字で指定します。 #例:5
DBUmask		suEXECの環境にて、指定する必要があれば各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022

項目名	初期値	説 明
HTMLUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要があれば各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022
UploadUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要があれば各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022
DirUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要があれば各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022
r_visible	On	Offにすると、管理画面にて、賃貸を全て非表示
		にします。
rl_visible	On	Offにすると、管理画面にて、賃貸::住居用を非表示にします。
rb_visible	On	Offにすると、管理画面にて、賃貸::事業用を非表示にします。
b_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買を全て非表示 にします。
bl_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::土地を非表示にします。
bm_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::マンションを 非表示します。
bh_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::一戸建てを 非表示にします。
bb_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::投資用を非表示にします。